

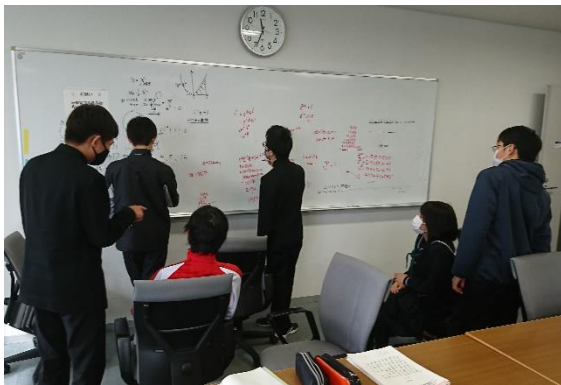
「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」総合成績7位，数学1位，情報1位を獲得！

12月3日（金）に「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」が各都道府県会場で分散開催され，福井県代表チームとして，本校中学2年生の松下千佳さん，市川遙一さん，多田優仁さん，福井大学教育学部附属義務教育学校2年生の3名，計6名が出場しました。

本大会の予選となる都道府県大会には合計24,070名の生徒がエントリーしました。全国大会には，各都道府県から選抜された47チーム，合計282名の中学生たちが，物理，化学，生物，地学，数学，情報の筆記競技に挑戦しました。福井県代表チームは，「ふくい理数グランプリ」で競い合った高志中学校と福井大学教育学部附属義務教育学校で編成。6名で理数系の難問に全力で挑んだ結果，福井県過去最高成績となる総合成績7位，数学1位，情報1位を獲得することができました。

出場した生徒からは，「新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から，分散開催となったことは残念だったが，福井大学教育学部附属義務教育学校の生徒と交流し，仲を深めながら対策に取り組むことができ，とても楽しかった。」「6人で全力を出し切ることができた。後輩たちもぜひ科学の甲子園ジュニアに挑戦してほしい。」などの声が聞かれました。

科学の甲子園ジュニアは，理科，数学等に関する複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて，科学と実生活のつながりに気付き，科学を学ぶことの意義や楽しさを実感することを目指しており，大会スローガンは「広げよう科学のこころ つなごう友情の絆」です。未知の課題に仲間と挑戦し，絆を深めるとともに，科学の楽しさを存分に味わえた大会となりました。



対策に取り組んでいる様子



全国大会に出場した福井県代表チーム